

# 青木こうじろう

活動報告 2021年1月発行



## 十二月議会一般質問

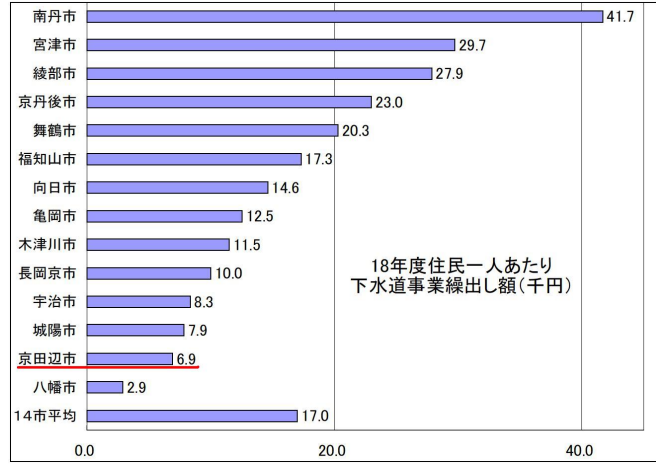
### ▼下水道料金を1.4倍へ引上げに

下水道料金引上げの条例案について、どのくらいの値上げ幅となるのか、明らかにするよう求めました。市当局からは「料金収入増は、年間年間約2億5千万円〜3億円程度。5人家族一ヶ月66立米使用だと約2300円アップ（現行約5千円から約7300円へ）」と答弁しました。

### ▼下水道料金引上げの背景に

#### 一般会計からの繰入大幅減

今回の料金改定の背景には、18年度に下水道事業会計が、公企業会計方式に移行したことから、市が「公企業会計は独立採算が原則」、「下水汚水処理費用は使用料金でまかなうべき」として、一般会計から繰り入れた額を、一気に半分近く、3億数



### ▼国言いなりでほとんどでもない料金引上げに

京田辺市が下水道会計への繰入額を大幅に減らしたのは、国が14年8月に出した総務省通達「公営企業の経営に当たつての留意事項について」に、そのまましたがっているからです。国は、全国の自治体に下水道事業会計を、独立採算制を原則とする公営企業会計方式へ移行せよと求めるとともに、一般会計からの繰入は国が定めた基準内にして後は料金収入でまかなうように、と押しつけています。これまで料金収入と一般会計からの繰入で経費をまか

なってきたものを、いきなり一般会計繰入を大幅に減らせば、料金収入を引き上げるしかなくなります。京田辺市の今回の料金引上げはまさにその典型です。この点で市の見解を質したのに対し、市当局は「一般会計からの繰入額は、下水道事業のあり方について市民に理解してもらいながら決めていく。一般会計の財源をどこに

## 決算委員会審議から

京田辺市の19年度一般会計・特別会計の決算認定を審議する決算特別委員会では、日本共産党から青木こうじろうが所属し審議しました。

### ▼子どもより財政優先の学校施設長寿命化計画案

「学校施設長寿命化計画」案について、単に学校校舎などを計画的に補修して長持ちさせるといっただけでなく、今後、財政面から小学校の給食調理設備、および小学校にあるプールのあり方を見直すとして、自校調理方式の小学校給食を、給食室の整備費が大変だからと給食センター方式に変更することや、小学校のプールも維持費が大変だから統廃合を検討するなどを打ち出しています。

決算委員会では、青木こうじろうは「学校施設のことを考えるのに、財政面からの視点だけで良いのか。子どもの発達、成長、教育にどういった施設が必要なのか、という基本がまずあった上で、そのために必要な施設をどう維持していくのか、という観点から計画作成をすすめるべきだ」と指摘しました。

市当局は「普通教室など従来からの施設は着実に改善する。その一方で給食設備やプールなどは、長い期間、使われなくなっているものもあり、トータル面でもどう考えるのが、長寿命化だ。」と述べ、財政面から普通教室は残すが、給食室やプールなどは選別の対象とすることを、事実上、認める答弁をしています。子どものことを第一に考えた学校施設の整備にこそ取り組むべきです。

入れるのか、ということであり、額が多い、少ないという問題ではない。下水道事業の経費について、適切な負担を市民にしてもらいたい。」と述べ、今回の料金引上げが国の方針そのままであることを事実上、認めています。  
しかし国の通達は、それだけでなく下水道料金について、一ヶ月20立米使用で3千円という目安まで示しています。これは、現在の京田辺市の料金の2・3倍であり、今回1・4倍に引き上げても追いつかず、さらにとんでもない負担増を住民に押しつけることになりかねません。  
これらを示して改めて料金改定についての市長の見解を質し、市長からは「今回の改定は、将来にわたって安定的に下水道事業をしていくために重要であり持続可能なものにしていくためのもの。繰入金金は、他市の状況など施策全体を見るべき。トータルで他の分野で不足がないようにしていく。下水道の中で負担をもらい、その分、他の課題を進めていく。まちづくりの観点で市民に理解される。」と答弁がありました。

### ▼松井山手駅東側ロータリーにも

#### ベンチ設置へ

松井山手駅東側（一般車用）ロータリーにもベンチを設置するよう求めました。市当局は「水辺の散策路のウォーキングを楽しめるよう、ルート上に道しるべや、ベンチ設置を進めていく。松井山手駅東側にもベンチを設置していく。具体的には21年度予算案に計上し、早期に設置したい。」と答弁しました。



みなさんのご意見・ご要望をお寄せください  
青木こうじろう  
山手東 1-8-6-106 Tel63-3883 (FAX 兼)  
aoki-koujirou@y3.dion.ne.jp

青木こうじろうブログ 検索

# 予算要求書を提出し市長と懇談

日本共産党京田辺市議団は12月1日、京田辺市長に「2021年度京田辺市予算に対する要求書」を提出し、1月に予算要求書を踏まえ市長と懇談しました。「予算要求書」では、「はじめに」で新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守るために、「PCR検査体制の抜本的な拡充」や「雇用と事業を維持へ、十分な補償や支援」、「少人数学級の実施など子どもと学生の学びを保障し、生活を支える支援」を京田辺市として政府に要望するとともに、市独自にも、保健所の再設置を要望することなど求めています。



他にも「同性婚制度」と「夫婦別姓制度」の実施を国へ求めることや、「ウヅカによる稲作被害への補償」など15分野249項目を求めています。

# 京都14病院長声明を踏まえた 対応を求め、市長へ緊急申入れ

新型コロナウイルスの感染拡大が深刻となる中、12月18日に京都府内の新型コロナウイルス感染症重症患者受入医療機関である14の病院の院長が連名で「重症新型コロナウイルス感染症による医療の逼迫について」とする緊急声明を発表されました。日本共産党京田辺市議団は、住民の命を守るために献身的に奮闘されている医療現場の方から出されたことを真剣に、重く受けとめる必要があると考え、21日に京田辺市長に対し、すべての市民に行動自粛をはじめとした感染防止策をとられるよう直ちにメッセージを発することをはじめとした「京都14病院長の『緊急声明』を踏まえた対応を求めるとして」の申し入れを行いました。

## 12月議会で実現した主な成果

- ☆委員会審議のインターネット中継実施。
- ☆要介護認定を受けた高齢者や、公共施設職員へのPCR検査拡充に向けた費用助成。
- ☆インフルエンザワクチン助成対象の拡充。
- ☆後期高齢者医療保険料・介護保険料の延滞金減免制度の導入。

12月議会・主な議案、意見書等への各会派の態度

	日本共産党	自民一新会	NEXT京田辺	公明党	南風維新クラブ	女性議員の会	南部登志子	結果
19年度一般会計決算認定	●	○	○	○	○	●	●	認定
19年度国民健康保険特別会計決算認定	●	○	○	○	○	○	○	認定
19年度水道事業会計決算認定	●	○	○	○	○	●	○	認定
19年度下水道事業会計決算認定	●	○	○	○	○	●	○	認定
市職員の期末手当引下げの条例改正	●	○	○	○	○	●	○	可決
後期高齢者医療条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
火災予防条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
中央体育館、田辺公園野球場、テニスコート等の使用料引き上げの条例改正	●	○	○	○	○	●	○	可決
下水道使用料引き上げの条例改正	●	○	○	○	○	●	○	可決
新ごみ焼却場予定地粗造成工事契約	●	○	○	○	○	●	○	可決
20年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	○	●	●	●	●	○	○	不採択
学術会議会員任命拒否の撤回を求める意見書	○	●	●	●	●	○	○	否決

※○=賛成、●=反対。

日本共産党京田辺市議団は次の見解を発表しました。

## 日本共産党京田辺市議団ニュース

第1291号 2021年1月31日

連絡先：日本共産党山城地区委員会 TEL46-9804

市役所議員控室TEL63-1122 (内線522)

# 下水道料金、 運動公園料金が引上げに

12月議会では、中央体育館や田辺公園野球場、テニスコート、プールなどの利用料を22年4月から引き上げる条例改正案が提出されました。日本共産党議員団は、「京田辺市スポーツ推進計画」でスポーツを文化の一つと位置付け、特定のスポーツ愛好者のためのものではないとしていることを示し、市民誰もがいつでも安全で気軽にスポーツに親しめるように、できるだけ安価にすべきと指摘し、あわせて多くの利用者にも影響することから、広く市民の意見を聞くためにパブリックコメントを実施すべきと求めているのに、背を向けたことを批判して反対しましたが、賛成多数で可決されました。

また下水道料金を21年7月から現行の1.4倍に引き上げる条例案にも反対しましたが、賛成多数で可決しました。

# 少人数学級求める請願は不採択に

12月議会には約900人分の署名を添えて、①少人数学級（20人程度）実現を国・府へ働きかけて。②学校トイレの洋式化を進め、業者による清掃を。③学校体育館にエアコン設置。④給食費や教材費を無償に。を求める請願が提出されました。審議では参考人として、市内小学校教員の方が出席し学校現場のリアルな状況などを報告されました。しかし採決では、賛成少数で不採択となりました。



# PCR検査拡大へ費用助成、 委員会審議ネット中継など実現

12月議会で可決した補正予算には、要支援・介護認定を受けている高齢者および、感染者が確認された公共施設、教育・福祉施設等で、行政検査を受けた職員だけでなく全職員が、PCR検査を受ける費用を助成する予算が盛り込まれました。また議会委員会審議をインターネット中継・録画配信をするための予算も盛り込まれています。